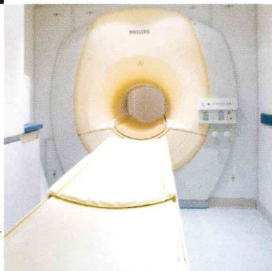


# MEDICAL MOBILE SERVICE

メディカルモバイルサービス





## より良い医療を、 どこでも、だれもが、安く 受けられる社会を目指す

株式会社フリールは「より良い医療を、どこでも、だれもが、安く受けられる社会を目指す」を企業理念に、1992年6月に設立した日本初のメディカルモバイルサービス会社です。

メディカルモバイルサービスとは、高額な高度画像診断装置を、購入・所有せずに共有（レンタル）し、車載という手段で移動可能にした、広範囲な地域医療サービスに貢献するビジネスモデルです。

当社では現在、CT搭載車、MRI搭載車などをご用意しています。地域医療の担い手の医療機関の皆様へ、当社の高度画像診断装置をレンタルしていただくことによって、より高度な医療サービスをご提供するお手伝いを行っております。また、企業・健保組合様に対しては、検診機関様と連携した検診機能のワンストップサービスも行っております。医療費削減を命題に「治療」から「予防」への意識が高まるなか、企業様の「健康経営」ニーズに対応したサービスをご提供しております。

医師である創業者の理念を引き継ぎながら、「だれもが、どこでも、自分の身体の健康チェックが受けられる安心な社会」、「新しいヘルスケアサービスの提供による社会貢献とグローバルな価値創造」をスローガンとして、より一層サービスの充実を目指し、医療機器ラインアップの拡大、ヘルスケア事業者様とのアライアンスなど、積極的な展開を考えております。

### 沿革

株式会社フリールは1992年6月に設立された日本初のメディカルモバイルサービス会社です。2013年5月にオリックスグループの一員になり、今後より一層のサービス充実を目指します。

1992年6月	日本初の移動検査室会社を設立「メディカルモバイルサービス」を開始。超音波診断装置、電子内視鏡などの医療機器を車載して、医療機関を貸与巡回するサービスを開始	2002年度	茨城・千葉テクニカルセンター、東京・神奈川テクニカルセンター、中部テクニカルセンター、九州テクニカルセンターを開設
1995年10月	東芝と共同で日本初のヘリカルCT車を開発	2003年8月	埼玉テクニカルセンターを開設
1997年10月	CT搭載車2号機を自社製作 群馬・栃木テクニカルセンターを開設	2008年7月	厚生労働省医政局長通知の発令により大幅な規制緩和
2000年1月	日本初、世界最小、東芝製超伝導1.5T MRI車完成	2013年5月	オリックスグループとなる
2000年6月	中国・四国テクニカルセンターを開設	2013年5月	群馬県高崎市へ本社を移転



## MEDICAL MOBILE SERVICE

〈 メディカル モバイル サービス 〉

必要な場所・時間・期間に応じて、必要な技術支援とともに高度画像診断装置のレンタルをご提案いたします。

CASE 01



装置を所有していない  
医療機関

### 一般レンタル

2 時間からの  
レンタルが可能

CT・MRIを所有されていない医療機関様で、自院でも高度画像診療を行いたいという要望にお応えするサービスです。

CASE 02



装置の更新を考えている  
医療機関

### 代替・支援

検査止め回避のための  
有益な手段

CT・MRIを所有されている医療機関様で、装置の更新やバージョンアップによって生じる検査止めを解消するサービスです。

CASE 03



自治体・企業・検診機関

### 検診レンタル

モバイル「肺がん検診」  
「脳ドック」に最適

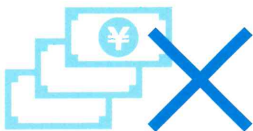
検診機関様のニーズに合わせた、機器・技術・人材のレンタル、企業様の敷地内で手軽に肺・脳ドックが受診できるサービスです。

## メリット

1

### 検査室にかかる 設備投資が不要

駐車場スペースが移動検査室になるので、新たに検査室を造ったり土地を購入する必要がありません。



2

### メンテナンス費用も 一切不要

装置は定期的にメンテナンスする必要があり、その費用も高額です。当社のレンタルは当社が責任を持ってメンテナンスいたしますので、医療機関様にご負担いただくメンテナンス費用は発生しません。



3

### 常に最新鋭の装置を 使用可能

日進月歩で最新の装置が生み出される医療業界。当社は搭載車を増やすたびに新しい装置を設置しておりますので、常に新しい装置をご利用いただけます。



4

### リースと違い リスク回避が容易

リースで装置を導入した場合、契約期間中の解約は多額の違約金が発生し、大きなリスクとなります。当社のレンタルは、期間の延長・短縮・解約が可能で、ご都合に合わせてご利用いただけます。



# CASE 01

Daily

〈 メディカルモバイルサービス 〉

## 一般レンタル



### CT・MRI 装置を「所有」ではなく「レンタル」で

CT・MRIを所有していない場合に、  
自院で画像診断を行いたいというご要望にお応えします

#### 患者様の不安を解消する“地域のかかりつけ医”として

患者様にとって、検査だけのために紹介先の大規模医療機関に行くことは、不安を感じたり、待ち時間が長いため、時間を取ることが難しい場合が多々あります。

そのような患者様のための“地域のかかりつけ医”として、医療サービスの向上にぜひお役にください。

#### 経営リスクを軽く

画像診断装置を所有することは経営リスクにもつながります。工事費だけではなく、撮影技師、メンテナンス費用といった相応のコストが生じます。レンタルであれば、月1回～4回、または隔月など、時間的問題も解消されます。また、解約の場合でもご負担はありません。

#### 検証手段としてのレンタル

MRIに関しては、導入前の採算を確認するための検証手段としてレンタルを行っていただく場合や、所有している既存装置の更新を行わず、レンタルへ切り替えていただいている場合も多々ございます。

#### 全国で214件の実績

現在、フリールのサービスは関東エリアを中心に、中部・関西・四国、九州などでご活用いただいております、全国で214件の実績がございます。

(2019年3月現在)

ご都合、ご要望に沿って、必要な技術支援（撮影技師、読影機関）とともに  
患者様への医療サービスの向上をお手伝いいたします。



# CASE 02

Substitution / Support

〈 メディカル モバイル サービス 〉

## 代替・支援



### 検査を止めず、時間を有意義に

CT・MRIの更新やバージョンアップによって生じる検査止めを解消  
また、装置の最適化や医学研究にも活用いただけます

#### 検査止め回避

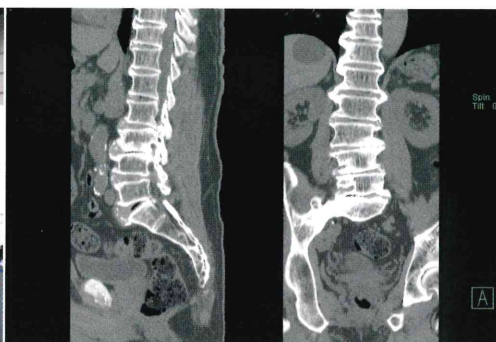
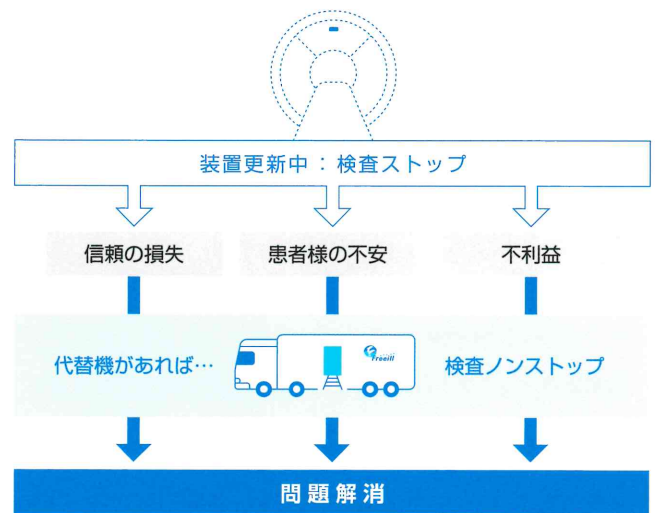
CT・MRI装置の更新時、工事期間中は検査ができなくなってしまいます。その期間、全面的に検査ができないことは、地域医療の信頼を損なう可能性もあり、患者様だけでなく、ドクターの診断にも大きな影響が生じます。いずれの場合も、CT・MRI搭載車の有効活用により、社会的信頼を維持する医療体制づくりをお手伝いいたします。

#### 検査待ち解消

特にMRIに関しては検査待ち期間が長いということが非常に大きな問題となっております。増設するにあたり部屋の確保、採算の問題は最重要課題となりますが、MRI搭載車両を使用することで、装置最適化の実現が可能です。

#### 地域疫学研究用にとつてのCT・MRI搭載車の有効活用

大学及び研究機関様においては昨今、多量な基礎データ収集のために、画像診断を取り入れています。特にMRI搭載車を活用することによって、地域での調査が可能となり、受診率の向上、追跡調査が可能となります。





## ワンストップの安心を

CT・MRI 検診車を必要な時期・時間だけ、  
検査機器・技術・人材支援とともにご提供いたします

### 検診機関向け

MRI脳ドックやCT肺がん検診を事業所内、工場敷地内など職場に近い場所で、毎年実施している定期健診と同じように「巡回型」で行いたいという企業様の要望が増えています。

住民検診でも、CT肺がん検診の実施を新たに検討し、加えて指定医療機関以外の場所でも受診できる「巡回型」を希望される自治体が増えました。

しかしながら、それらのニーズに合わせて検診機関様が単独でCT・MRI 検診車を所有することは、費用面・技術面で大きな負担となります。

当社のCT・MRI 検診車をご利用いただくことで、新たに設備投資することなく、必要なときに必要な日数（時間）だけ高度画像診断装置をレンタルで導入することが可能です。

読影支援先の紹介、巡回型高度画像診断装置の運用技術と人材支援についても、当社のネットワークなどからご利用になれます。

CT・MRI 検診車の導入による他施設との差別化は、貴施設の新たな強みを生みだします。

### 企業向け

従業員の皆様の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」が注目されています。

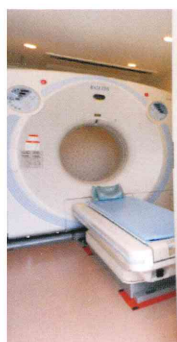
企業理念に基づき健康投資を行うことは、従業員の活力や生産性の向上などによる組織の活性化をもたらす、結果的に企業業績の向上につながると期待されています。

「健康経営」の一つとして、毎年の定期健診に加え、高度画像診断装置による精度の高いMRI脳ドックやCT肺がん検診などの検査を追加したいと希望される企業様が増えています。

人間ドックなどを契約先医療機関のみで行っている場合、従業員様がMRI脳ドック・CT肺がん検診の追加検査を希望されても、同じ施設での同日受診の予約が取れず、結局一部の健康意識が高い方だけの受診にとどまってしまう、幅広い層での受診率の向上につながらないのが現実でした。

「巡回型」CT・MRIによる検査を導入することにより、職場の近くで、短時間で追加検査を受けることが可能になり、「受診率の向上」、人数集約による「コストダウン」もはかれます。

事業所内に駐車スペースがない場合でも、近隣の道路を使用した巡回検診が検討できますので、ご相談ください。



# 搭載車の特性

Mobile CT / MRI

## 高度な画像診断装置を患者様の身近に

日本の道路事情にあった世界最小のCT・MRI 搭載車を開発し、  
一般診療から検診、研究領域といったさまざまな分野まで幅広く対応いたします

FEATURE

1

病院据付と性能は同じ  
診療報酬請求も可能

車内でCT・MRI 検査ができ、  
診療報酬請求も可能です。



FEATURE

2

車椅子・ストレッチャー  
にも対応

全ての車両に  
パワーゲートを装備。  
ストレッチャーや車椅子の患者様にも  
対応可能です。(写真はCT)



FEATURE

3

DICOM にも対応

画像出力は  
DVD-Rなどの記憶媒体への出力・  
院内ネットワークへの接続などが可能です。



# CT



世界最小のCT搭載車を開発。全車両に16列CTを搭載し、今まで以上に精密な検査が可能となりました。

■ 全長：9.2m～9.7m ■ 全幅：2.5m ■ 全高：3.8m

搭載機種

シーメンス製	SOMATOM Emotion16	4台
キャノン製	16列 Alexion	5台
日立製	ECLOS 16slice	1台

2019年3月時点

# MRI



日本で初めて高磁場MRIを車載化した、世界最小のMRI搭載車です。1.5Tの高磁場タイプにより高度な検査を提供いたします。

■ 全長：11.6～12.6m ■ 全幅：2.5m ■ 全高：3.8m

搭載機種

フィリップス製	Achieva (1.5T)	2台
フィリップス製	Gyrosan Intera (1.5T) Pulsar	1台
日立製	ECHELON RX (1.5T)	4台

2019年3月時点



AN ORIX COMPANY

株式会社 フリーール

<https://www.freeill.co.jp>

本社	〒370-0052 群馬県高崎市旭町46-2 高砂ビル高崎西口7階 TEL / 027-329-7080 FAX / 027-329-7082	群馬・栃木 テクニカルセンター	〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町675-4 TEL / 0270-32-7137 FAX / 0270-32-7817
東京・神奈川 テクニカルセンター	〒194-0201 東京都町田市上小山田町1087-2 TEL / 042-797-9652 FAX / 042-797-9653	茨城・千葉 テクニカルセンター	〒300-0015 茨城県土浦市北神立町7-5 TEL / 029-834-8375 FAX / 029-834-8376
埼玉 テクニカルセンター	〒339-0072 埼玉県さいたま市岩槻区古ヶ場花ノ木643-5-4 TEL / 048-793-3315 FAX / 048-793-3316	中部 テクニカルセンター	〒470-1101 愛知県豊明市沓掛町小所247 TEL / 0562-38-6942 FAX / 0562-38-6943
中国・四国 テクニカルセンター	〒701-0213 岡山県岡山市南区中畦898-11 TEL / 086-298-9236 FAX / 086-298-9237	九州 テクニカルセンター	〒841-0201 佐賀県三養基郡基山町小倉122-1 TEL / 0942-81-0025 FAX / 0942-81-0026